

製品名: LC3A (8F5) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00891**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14,16 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP1LC3A
別名	Microtubule-associated proteins 1A/1B light chain 3A; Autophagy-related protein LC3 A; Autophagy-related ubiquitin-like modifier LC3 A; MAP1 light chain 3-like protein 1; MAP1A/MAP1B light chain 3 A; MAP1A/MAP1B LC3 A; Microtubule-associated protein 1 light chain 3 alpha
遺伝子 ID	84557
SwissProt ID	Q9H492
免疫原	ヒト MAP1LC3A の合成ペプチド

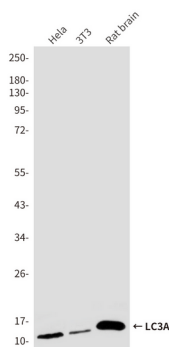
背景

オートファジーマーカーである軽鎖3 (LC3) は、当初は微小管関連タンパク質 1A および 1B (MAP1LC3 と命名) のサブユニットとして同定され、その後、オートファジーに重要な酵母タンパク質 Apg8/Aut7/Cvt5 との相同性を持つことが明らかになりました。ヒト LC3 には3つのアイソフォーム (LC3A、LC3B、LC3C) があり、オートファジー中に翻訳後修飾を受けます。LC3 は合成直後にカルボキシ末端で切断され、細胞質 LC3-I 型となります。

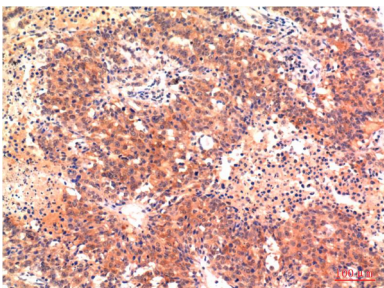
研究分野

シグナル伝達

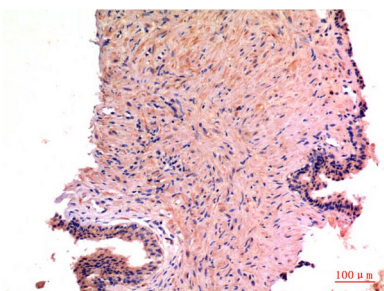
画像データ



LC3A 抗体を使用した、Hela 溶解物、3T3 溶解物、ラット脳溶解物中の LC3A (8F5) のウエスタンブロット分析。



LC3A 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



LC3A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。